

横浜 絹フェスティバル

2018年11月17日（土） 横浜大榎橋ホール

「ミニ畳作成ワークショップ」と「畳雑貨展示販売」

来場者 約2000名（15～17日・3日間で3800名）

チームJ-culture2020としてワークショップで参加

11月15日（木）煎茶 16日（金）いけばな 体験

17日（土）はステージでの着物ショーが2回開催され、その見学を目的の方も来られ、3日間で一番の賑わいとなりました。

そんな中で「畳でおもてなしプロジェクト」は、存在感を示すことが出来
主催者からも御礼の言葉をいただきました。もちろん、何よりも来場の
多くの方々に畳を楽しんでいただくことが出来てのが一番の収穫です。



参加者 東京・小川畳店 常川畳店 西田畳店 長南畳店

神奈川・佐藤畳店 静岡・松葉畳店

山中産業・福岡 東海機器工業・内藤&土井 総員 11名

チームワーク抜群で楽しく気持ちよく、活動をさせていただきました。

I] ミニ畳作成ワークショップ

100名を超える方々にミニ畳作成を通して、畳の「素敵」を楽しんでいただきました。(下記の写真は“横浜スカーフ親善大使”のお二人)



上の写真は「横浜・絹フェスティバル」の主催者のお二人
手前のお嬢さんは外国語が堪能で海外でも活躍されておられるそうです。
奥の金髪のお嬢さんはロシアの方ですが、日本の文化が大好きだとか、
綺麗な日本語を話されて驚きました。

昨年“きものサローネ”で体験された女性は、ミニ畳のワークショップがあると知ってわざわざお越しいただきました。



自分の好みで畳表や畳縁を選ぶことが出来ることも大人気の理由
どこのブースよりも最初から最後まで賑わっていました。

II] 畳雑貨の展示販売

畳の材料（畳表や畳縁等）を使って参加してもらった畳店さんが作った畳雑貨を展示させていただきましたが、来場者に大人気となりました。



今回初めて6店の畳屋さんが同じブース内で、自分たちで作った畳雑貨を展示させていただきましたが、商品数も多く、バリエーションもあって、興味を高めることが出来たようにも思います。これも畳の面白さといった情報発信になっていくと思いました。

今後の畳でおもてなしプロジェクトの活動のアクセントとしても楽しい演出になるようにも思いました。



展示・販売の三人の看板娘？やはり女性には華がありますね～



お客様と販売の豊店の中に会話の花が咲きます。
「かわいい～！これ欲しい～！」可愛い感性に年齢差はありません



沢山の皆様 ご来場ありがとうございました。